

保護者の皆様へ

令和5年4月
松江市教育委員会
(学校給食課)

学校給食費の改定を検討しています（お知らせ）

松江市の学校給食費は、平成26年8月に改定して以降、約8年間値上げをせず据え置いてきました。

この間、物価高騰や原油価格の高騰に伴う輸送経費等の値上がりなどにより、学校給食で使用している食材価格が大幅に上昇しています。不足する食材費については、これまで食材や献立を工夫したり、令和4年度はコロナ禍における国からの交付金を活用するなどの対応をしてきました。しかし、予想を超える物価高騰が続いていることから、これまでの対応では、栄養バランスや献立水準の維持が非常に困難となっています。

このような状況を踏まえ、現在、教育委員会では令和5年度二学期からの給食費改定を検討しています。

●保護者の皆様からの給食費

保護者の皆様にご負担していただいている給食費は、年間約8億円で、すべて食材費に充てています。 今回検討している改定については、すべて児童生徒へ提供している給食の食材の充実に充てられるものになります。

給食を提供する上で必要な食材費以外の光熱水費や施設設備の維持管理費など年間約12億円は、すべて市が負担しています。給食提供にかかる経費は合計で約20億円かかり、1食あたりに換算すると小学校で670円程度となります。

●食材費高騰の現状

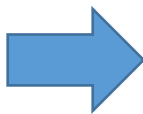
副食（主菜、副菜、汁物）については、今年度2月分までの全食材246品目のうち154品目が前年度比較して値上がりをしています。その内、22品目は30%以上の値上がりをしている状況です。

牛乳については平成26年より約10円/本の値上がりをしており、次年度以降もさらに値上がりする見込みです。

●改定額の試算

現行

1 食単価	小学校	272円
	中学校	313円
	幼稚園	251円



◆試算額◆

1食あたり

38円～50円程度の増額
を検討しています。

●改定による効果

- ・成長期に特に必要とされるカルシウムや鉄分、食物繊維を十分に摂取できる栄養バランスの取れた献立を維持、充実することができます。
- ・副食などに入る食品数や組み合わせの維持、充実が図れます。
- ・地産地消や安全性をより重視した食材の選定が可能となり、食育の推進が拡充できます。

これらのことから、より魅力のある安心・安全な学校給食を引き続き安定的に提供することが可能となり、児童生徒の健やかな成長や食育の推進が期待できます。

●今後のスケジュール

今後、保護者の皆様やPTA、学校長や公認会計士等を委員とする学校給食費検討委員会の中で様々な意見をお聞きしながら、検討・協議を重ねてまいります。皆様方には、説明資料をごらんいただきご意見をお願いします。

説明資料はコチラから



●令和5年度給食費

当初は、令和4年度の給食費と変わりありません。

給食費改定後、改めてお知らせいたします。

